

考える

がんと生きる宗教学者・鎌田さんに聞く



かまた・とし 1951年、徳島県阿南市生まれ。「神界のフィールドワーク」「翁書論(宗教と霊性)」など著書多数。詩人や音楽家としても活躍。詩集に「絶体絶命」「いのちの帰郷」など。

〈病状は?〉
順調に悪化している。脳に移転し、パソコンで文書を書くのも一苦労。嗅覚が敏感になり、ラーメンや焼き鳥のにおいで気持ち悪くなる。あまり食べられず自然と断食しているように感じた。逆に心はフル回転している。体調は最悪、精神は最良。そんな状態です。

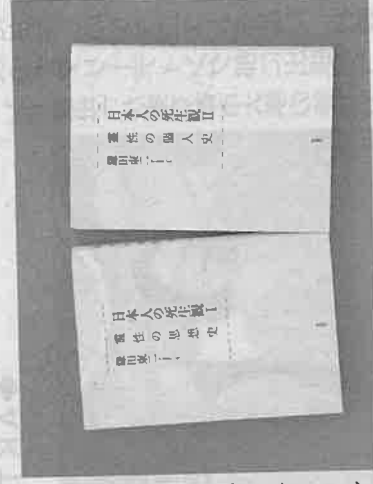
〈断食をすると精神が活性化すると聞きます〉
受動的な断食だね。仏教では、断食をすると知恵や慈悲の心が湧いてくると言われる。そんな感じで、あらゆるものからおいしく、感謝の気持ちで見てくる。

〈今回の本では、これまでの先生の学問的な探究がとつられていきます〉
日本人の民間信仰では元々、あの世とこの世とは断絶してなく、往来できると考える。生と死の循環が死生観の根本構造。縄文時代から続く考えで、私の中にも引き

死に照らされ 浮かぶ生

2022年に告知を受け、その後ステージ4に進行したが、なんと共に生きる京都大学教授の鎌田真一さんが新著「日本人の死生観」(I・II、作品社)を刊行した。鎌田さんと親交があり、著書「自分が、ないから。」が話題の著述家・しんめいPさんが、自分の死を見つめる宗教者たちに話を聞いた。

記憶や言葉 分散して残る



「日本人の死生観」(I・II)

残した言葉などが、家族や友人らの中に分散し生き続けていくのかなと思う。死は喪失として捉えられなければならない。死んだら、言葉なんかを囁かし、面白おかしくおやかに送り出してほしい。私の死が、残された人々にとっての祭りみたいにならばいい。

聞き手 しんめいPさん

話を聞いたとき、私は36歳。鎌田真一先生が語ってくれた言葉の本当の意味を実感するのは、まだ難しい。正直、死ぬのも、病氣も怖い。自暴も出始め、老いも怖い。ただ、先生の言葉そのものよりも、がんと生きるその在り方に感銘を受け、勇気をもらった気がした。

余命宣告を受けてなお、先生は精神的に動き回っている。著作を冊冊も出版し、各地を旅し、弾き語りライブをしい

しんめいP 1988年生まれ、大阪府出身。東京大卒。無職で引きこもっていた時に、東洋哲学と出会い、その哲学を順明に解説した「自分が、ないから。」を刊行。20万部を超えるベストセラーになっている。

死は光である」と書いてある。とても力強い言葉だと感じました。

死は光源である、とずっと前から思っていた。でも心底納得できたのは、がんになってからだね。死に照らして出されることで、死期が近づいてくる。そのが一書類い部分に持っているものが浮かび上がってくる。言葉とはほとんど外れていき自由になってゆく。

〈医者には、余命あと何年と?〉
2年ほど前に余命3年と言われたので、短くて今年いづまい。身体的にもね。でも、もう少し食べられれば、あと1年半はいけるかもしれない。

〈先生は正直、死んだらどうなるの?〉
輪廻転生があるかは分からない。でも、自分についての記憶や

「死は贈与」に感銘

る。それに、毎日のように長時間の動画をYouTubeに上げている。とてもステージ4とは思えない、驚くべきペースだ。先生は「死は怖くない」と言う。確かに、先生の生き方(あるいは死に方)を見ていると、その言葉には、強い説得力がある。

「ほんとうのたぐもの」の話は、また今の私にはよく分からない。もしかすると、死ぬ瞬間に理解できるのかもしれない。

「死は贈与である」なんて、考えたこともなかった。でも、先生の生き方から、既に大きなものを受け取っているような気がする。私の死もまた贈与になるのだろうか。そう思うと、死はただ怖いものではなくなるように思えてきた。

KDDI全国調査
海外旅行、アジアが人気
行き先トップは韓国

行ったのも行きたいのも韓国と台湾。KDDIが、この3年以内に海外旅行に行った全国の男女に旅行先などを尋ねた調査で、アジア人気が浮かび上がった。

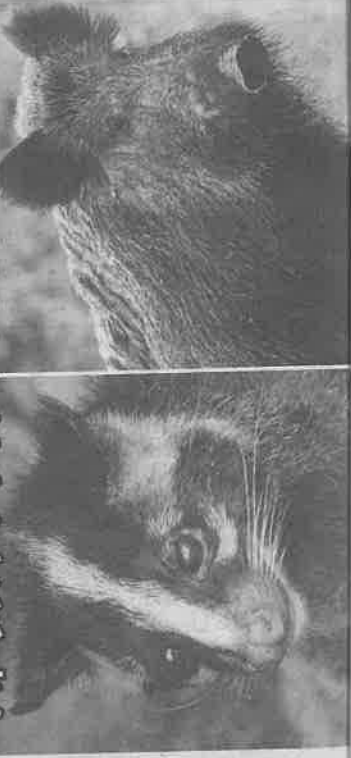
調査によると、直近の海外旅行先はアジア(約64%)が最も多く、続いて北米・グアム・サパン・ハワイ・南米(約19%)。国・地域別では1位韓国、2位台湾、3位ハワイだった。次に行きたい旅行先も、最も人気が高いのはアジア(約68%)で、次いでヨーロッパ(約42%)。国別でも1位台湾、2位韓国だった。

韓国は女性の人気が高く、お薦めの観光スポットとしてグルマやシヨッピンギを楽しめる「明洞」が挙げられた。費用の平均は韓国で19万円、ハワイでは4万円だった。

調査は2月、この3年以内に海外旅行に行った15~69歳の男女を対象にインターネットで行われ、千人から回答を得た。

獣・鳥・虫なんでも撃退!

ハト・タヌキ・アライグマ・ナメクジ・害虫、他



「ヒトサボニン」が
迷惑な動物を退ける!

北海道のホタテ漁で、網にかかった魚をそのまま放置すると野生動物が荒らしに来るのに、ヒトサボニン一箱なら来なかったことから発見されたのが「ヒトサボニン」。ヒトサが自分の身を守るために体内に蓄えているこの成分が、害獣・害鳥に驚異の忌避パワーを発揮。順による被害が約70%減少(※)したという報告も届いています。

100%
どんな
中身は
ヒトサ
しく、子
所にも
た目で、
り、水澄
OK。当
でも大
で、りし
笑も効果
にこそ

害獣・虫
お困り

- ✓ 鹿やイノシシに困っている
- ✓ ベランダに来る鳥が困っている
- ✓ コミ捨て場を荒らすカ

家の
く
いて
す
ー